

※質問内容は生徒・保護者・教員共に同様になりました(質問の仕方は異なります)。

質問 ※質問は生徒向けの質問です	種別	生徒 平均2022	生徒 平均2023	生徒 平均2024	増減	保護者 平均2022	保護者 平均2023	保護者 平均2024	増減	教員 平均2022	教員 平均2023	教員 平均2024	増減	取り組み	課題	第三者 委員会
		生徒 平均2022	生徒 平均2023	生徒 平均2024	増減	保護者 平均2022	保護者 平均2023	保護者 平均2024	増減	教員 平均2022	教員 平均2023	教員 平均2024	増減			
1 学校の特色は、はっきりと示されていると思いますか。	学校運営	73%	75%	79%	↑	75.3%	77.3%	76.8%	↓	71.5%	73.5%	69.8%	↓	「高校生活のしおり」等に建学の精神を載せ、本校独自のキヤッチフレーズ「真ん中に生徒」を打ち出している。進学校ではあるが、受験校ではないとの基本の方針も示している。	生徒と教員で上昇し、保護者は横ばいである。外部への広報が必要。最大の特色は東海大学の付属校である。高大連携が少なく、特色が出ていない。次年度に向け、各分掌主任に企画・立案を求める。	82%
2 学校は、安全や感染症等に様々な対策をとっていると思いますか。	学校運営	79%	74%	76%	↓	77.5%	76.0%	77.5%	↓	69.3%	72.3%	68.0%	↓	月に一度、産業医を交えた安全衛生委員会を開催し、現状報告や校内巡回を行い、助言を頂いた。	生徒と教員で逆の傾向のは、取り組みを周知する時差と思われる。外部侵入による盗難事件や問題行動が増加した。監視カメラの導入が外部侵入以降となり、設置遅れの感は否めない。外部者が自由に校内に入れる環境について再考する必要がある。	
3 あなたは、本校に入学したいと考えていましたか。	学校運営	82%	82%	84%	↑	85.0%	85.0%	83.8%	↓	69.8%	71.5%	68.5%	↓	本校を第1希望とする生徒増を目指し、4かけ運動(気にかける・目をかける・手をかける・心にかける)を展開している。部活動と学習のメリハリをつけるべく、試験前の練習制限を厳しくに設定した。	教員と生徒は上昇し、保護者は横ばいである。外部への広報が必要。公立高校への入学希望者が奨学生入試や一般入試を経て入学しているため、100%に近づけるには限界がある。入学して良かったとの満足度を上げることを目標に取り組みたい。	
4 教職員は、何事にも熱心に取り組んでいると思いますか。	学校運営	77%	77%	80%	↑	80.3%	80.3%	79.3%	↓	77.3%	83.0%	71.5%	↓	朝のホームルーム後に学級担任は欠席者への連絡を行う等、様々な場面で迅速な対応している。生徒の悩み相談や卒業後に向けた進路指導(三者面談)も実施している。今年度は朝読書を無くしてHRの時間を増やし、生徒と関わる時間を増加させた。	保護者教員に比べ、生徒の値が少し低い。担任業務・教科指導以外の部分が多い。生徒と関わる時間を増やすための業務削減が必要である。	
5 学校は、施設設備等の教育環境の充実に努めていると思いますか。	学校運営	81%	80%	82%	↑	83.0%	82.0%	80.3%	↓	78.5%	78.5%	69.5%	↓	インターネット環境の整備、連絡メール、売店や学食、運動場の人工芝等、他校よりも充実していると考えている。設備については防犯カメラを設置した。	保護者に比べ、生徒教員の値が低い。設備としては他校より充実しており、これ以上の充実は現実的に厳しい。事前に考えることで回避できる破損が数点見受けられた。行動の前に考える習慣を身に着けさせたい。	
6 教職員の生徒への対応は適切であると思いますか。	学校運営	76%	77%	79%	↑	81.3%	81.3%	78.8%	↓	77.8%	79.3%	73.5%	↓	一方的に話すのではなく、生徒の言葉にも耳を傾け、諭すように指導している。生徒との距離は近いように思う。生徒教職員向けの研修を実施しコミュニケーションスキルを身につける取り組みをした。	生徒と教員の値に差がある。一部の年輩教師に旧態依然の指導が残っている。次年度については、教員研修の機会を増やして考え方の刷新を図りたい。また、不適切な対応に對しては、管理職から厳重注意を行っていく。	
7 学校は、ICT機器を活用し、様々な情報発信に努めていると思いますか。	学校運営	80%	80%	83%	↑	82.0%	80.8%	80.5%	↓	82.0%	82.3%	70.8%	↓	保護者への連絡メールをマメに行っている。また、フェイスブックやInstagram等のSNSツールを活用して生徒の様子を頻繁にアップしている。	生徒の値が低く、保護者・教員と生徒で情報の得方が異なる。連絡メールの配信が多く、中身を確認していないケースが増えてきた。発信の必要性、発信内容の簡略化等を検討し、全教職員で共有したい。	
8 教職員は、授業を通して学力を身につけさせていると思いますか。	学習指導	76%	78%	81%	↑	72.5%	72.8%	73.3%	↓	68.0%	68.3%	68.3%	↓	平常点を40点とし、試験問題の難易度を上げ、実力問題を盛り込んだ。	生徒・保護者と教員での傾向が逆である。平常点の割合が高くなり、課題が増えた影響と思われる。英語においては、GTECで大きく点数が伸びた。他教科においては、若干の伸びはあったものの、満足のいく結果ではなかった。	81%
9 教職員は、家庭学習や課題への取り組みを促していますか。	学習指導	78%	79%	81%	↑	73.0%	74.0%	74.0%	↓	64.5%	65.5%	60.8%	↓	多くの教科が週末課題を課し、1年間継続した。提出状況を平常点に反映させた。	生徒と教員での傾向が逆である。課題の増加に伴い、提出を促す機会が増えている。昨年度同様、真剣に取り組む者、提出を目的とし、答えを丸写しする者がいた。進路目標を定めることで意識を変えたい。	
10 あなたは、入学以前に比べ、学習意欲が向上しましたか。	学習指導	73%	71%	73%	↓	66.5%	64.3%	65.5%	↓	58.3%	58.3%	55.0%	↓	学習意欲の向上を図り、参加型の授業を取り入れている。積極的な姿勢は、平常点として評価している。	生徒に比べ、保護者・教員の値が低い。受験生の成績は年々向上している。試験前放課後には学習する生徒でホールが溢れている。家庭学習の不足を示していると思われる。進路目標を定めることで意識を変えていきたい。	
11 東海大学付属校のメリットを活かした学習活動を行っていると思いますか。	学習指導	75%	76%	78%	↑	74.0%	74.8%	73.0%	↓	72.0%	70.3%	74.5%	↓	土曜講座で体験型学習を含む大学講義やキャンパス見学(校外学習)を実施している。校外学習の一環として1学年と保護者を対象に東海大学農学部臨空キャンパス見学を行った。	教員だけ値が低下している。昨年度よりも大学との連携授業は増加した。隣接する付属校であることから、高大の努力によっては連携した学習活動をさらに増加させることは可能。2025年度はさらに活性化させることで、大学と打ち合せ済み。	
12 学校は、授業を通して、確実に学力を身に付けさせていると思いますか。	学習指導	74%	75%	77%	↑	66.8%	67.5%	67.8%	↓	64.5%	65.0%	75.0%	↑	小テストの実施とこれのやり直し、参加型授業の展開、復習動画のメール配信を行っている。	三者ともほぼ横ばいであるが、生徒は値が大きい。学力の向上を掲げ、これまで以上に力を入れているが、大きな成果が上がっているとは言い難い。中間層を学習に目を向けさせることが課題。	
13 教職員は、ICT(タブレット等)を活用して授業の充実に努めていますか。	学習指導	80%	82%	83%	↑	77.0%	77.5%	77.8%	↓	79.5%	80.5%	71.3%	↓	ほぼ全ての授業でタブレットを使用した授業展開を実施している。宿題の配信と提出をタブレットで実施している先生もいる。デジタル教材の活用の為の職員研修を実施した。	教職員のみ下降。市区町村によっては、小学校からタブレットを取り入れた授業が展開されており、使用が当たり前になっている。活用の充実を目指すには、教員のICT活用技術の向上が求められる。研修会等を実施し、更なる向上に努めたい。	

質問 ※質問は生徒向けの質問です	種別	生徒			保護者			増減	教員	教員			増減	取り組み	課題	第三者委員会
		平均2022	平均2023	平均2024	平均2022	平均2023	平均2024			平均2022	平均2023	平均2024				
14 教職員は、生徒の実態を把握し、適切に指導していると思いますか。	クラス指導	73%	75%	78%	74.5%	74.5%	73.8%	↑	74.5%	75.0%	78.3%	↑	学級担任と学年団で情報共有のもと指導を行っている。問題を抱えている生徒には特に注視し、保護者と連携して指導にあたっている。管理職が面談に入ることもある。	生徒の満足度が上昇、保護者・教員と近く、遅刻・欠席が増加者には、すぐに保護者を交えた面談を行っている。また、児童相談所や県警および関係機関と連携を密にし、状況の把握に努めている。必要な情報は関係する教員間で共有し、指導にあたっている。	80%	
15 教職員は、生徒の悩みや問題に適切に対応していますか。	クラス指導	74%	75%	78%	74.3%	74.0%	74.5%	↑	77.3%	78.3%	78.8%	↑	教育総合相談室、カウンセラー等、相談窓口を設置している。学級担任は、生徒の出席状況や交友関係から、実態把握に努めている。	生徒・保護者と教員で数値に差がある。部活動やクラス内で、言い方や受け止め方の違いにより関係がこじれてしまつたケースが複数あった。学級担任に限定せず、生徒が話しやすい教員が相談に応じている。2者面談の定期的な実施等を行い、早期発見に努めたい。		
16 教職員は、保護者と連携して生徒の育成に努めていると思いますか。	クラス指導	72%	74%	76%	72.8%	73.5%	73.8%	↑	75.0%	75.8%	81.0%	↑	保護者との情報共有は密にしている。登校がなければ、1時間前に家庭に連絡を入れている。早退時も同様。電話の中で普段の様子についても話をしている。	第三者とも上昇、生徒・保護者と教員で数値に差がある。問題があれば保護者に連絡を行うが、それ以外においては問う場合が少ない。部活動においては保護者との連携が強固。部活動所属の有無で教員・保護者の関係が二極化している。保護者参加のイベント等を検討する必要がある。		
17 あなたは、学校が楽しいと思いますか。	クラス指導	82%	83%	84%	83.8%	83.5%	81.3%	↑	82.5%	83.0%	85.3%	↑	体育祭や文化祭・修学旅行等、学校行事をほぼ実施することができた。修学旅行に関しては体調不良者を1名も出すことなく有意義なものになった。	生徒・保護者と教員で数値に差がある。楽しめるイベントが開催できたことは良かった。イベントの中身を検討し、より充実を図りたい。最も重要なのは日頃の学校生活。目標のない生徒も存在するため、目標を持たせることで充実した学校生活を送らせたい。		
18 あなたは、学校内で良好な人間関係が築けていますか。	クラス指導	84%	85%	85%	84.0%	83.5%	83.5%	↑	77.3%	79.3%	64.3%	↓	学級担任と学年団で情報共有のもと、生徒の人間関係に支障がないか注視している。生徒によってはクラス替え時に仲の良い生徒と同じクラスになるよう配慮している。	生徒と保護者・教員で数値に差がある。良好な関係が築けている生徒が増加したことは大変嬉しい。馴染めない生徒が数名いるが、中学時代この傾向にある。教育総合相談室で自習を行い、進級に配慮している。中には完全に教室で授業が受けれるようになった生徒もいる。		
19 あなたは、礼儀や挨拶がきちんとできていますか。	生活指導	85%	86%	86%	78.3%	78.0%	78.8%	↑	66.3%	65.8%	62.5%	↓	毎月一度、朝礼を中止して4かけ運動(声・気・心・目にかける)を実施している。平時においても生徒よりも先に教員が挨拶をし、それ違う際には挨拶を行うことが当然といった雰囲気を作り出している。教室の「あいさつ日本一」の掲示物を張り出し自らあいさつをするという意識付けを行った。	生徒・保護者と教員で10%程度の差があったが、今年度教員の数値が近付いた。非常に多くの生徒が挨拶ができる。「挨拶日本一」のぼり旗、横断幕を作成し意識を高めさせる。	76%	
20 あなたは、校則やマナー等を守っていますか。	生活指導	85%	86%	87%	74.5%	73.8%	74.3%	↑	56.5%	62.3%	56.0%	↑	生徒指導部や学年で服装の乱れを注意している。集会を行って全体に改善を呼び掛けた。	生徒・保護者と教員で10%以上の差がある。生徒・保護者と教員で概ねマナーを守っているが、女子生徒の服装の乱れは昨年度に統一して課題。短いスカート丈・ネクタイの緩みがファッションの一部と捉える女子生徒が多い。スカートの変更を検討中。		
21 あなたは、掃除等の環境美化に努めていますか。	生活指導	83%	82%	84%	81.8%	80.8%	80.0%	↑	71.0%	68.8%	65.8%	↓	平時の掃除を教員指導のもと、しっかりと行っている。売店でジュースやパン類の販売を行っているが、それらのゴミが落ちていることはほぼない。	生徒・保護者と教員で5%以上の差がある。掃除をさばる生徒はほぼなく、真面目に取り組んでいる。また部活動性が中心になり校内美化に務めることが出来た。全校生徒に美化意識を芽生えさせるよう努力したい。		
22 あなたは、基本的生活習慣(規則正しい睡眠や食事)がでていますか。	生活指導	79%	79%	82%	73.8%	73.8%	73.8%	↑	71.0%	70.8%	63.0%	↓	遅刻しての登校が複数回あった生徒には面談を実施している。保健委員会より睡眠の大切さとスマートフォンによる睡眠妨害等のチラシが発行されている。	高校生は値が上昇している。第三者とも近い値である。高校生となれば自室があるため、保護者も就寝時間の把握ができないのが実態。家庭によっては就寝時間はスマートフォンを持ち込まない等、工夫を講じている家庭もある。保護者と連携して基本的な生活習慣を確立させたい。		
23 あなたは、自身の進路に対して熱心に取り組んでいますか。	進路指導	78%	80%	81%	68.0%	70.3%	71.3%	↑	75.0%	75.8%	81.5%	↑	東海大学のキャンパス見学、学部学科の説明会、小論文指導等を行っている。年に一度の進路希望調査と第三者面談を実施し、進路意識の醸成に努めている。	保護者の値が低く、教員が高い。将来および数年後のビジョンがない生徒が多い。可視化させるための方策を打ち出し、計画性を持たせたい。この部分が充実しない限り、学習への取り組みが向上しないと考えている。	76%	
24 学校は、進路に関する指導・面談を十分に行っていると思いますか。	進路指導	79%	80%	82%	74.0%	76.0%	74.8%	↑	77.3%	76.5%	74.5%	↓	年に一度の進路希望調査と第三者面談を実施し、進路意識の醸成に努めている。生徒とは2者面談を実施し、自身の進路希望に見合った進学先を薦めている。	生徒・教員の値は近いが、保護者が少し低い。情報提供や面談はある程度充実している。情報は送られているものの、イメージができていないと考えられる。前段で述べた可視化できる方策を打ち出すことで、マッチングさせていきたい。		
25 あなたは、東海大学へ付属推薦で進学できることにメリットを感じていますか。	進路指導	82%	81%	82%	78.8%	81.0%	79.5%	↑	74.5%	76.5%	82.0%	↑	本校最大のメリット。例年付属推薦で進学する生徒は約40%。	生徒・保護者に比べ、教員の値が高い。付属推薦の特別枠で東海大学に進学可能なことは間違いないメリット。東海大学進学の有無にかかわらず、選択肢が多いこともメリット。そのあたりの伝え方が弱いことが伺える。		
26 あなたは、学校行事や生徒会行事について充実していると感じていますか。	特別活動	73%	79%	80%	72.5%	77.5%	77.8%	↑	74.5%	79.0%	78.8%	↑	体育祭・文化祭・クラスマッチ等、生徒会が中心となって内容の充実に努めた。	生徒の値が上昇し、保護者・教員と値が近づいた。生徒会が活発に意見を出し、文化祭で新企画が誕生した。生徒の発想を大切にし、生徒のための学校行事にしていきたい。	79%	
27 教職員は、部活動の指導に熱意を持って取り組んでいますか。	特別活動	84%	84%	85%	81.5%	81.8%	81.5%	↑	86.0%	87.3%	84.3%	↑	部活動での進学者が年々増加している。これに伴い、教員も熱を入れて指導している。教員部活動においては、日曜勤務者とし、平日に休日を設けている。	第三者とも横ばい。教員と保護者の値が5%前後違う。試験前の特別練習に制限を設けた。大会2週間前の部活動で、前回試験で成績に問題のない生徒に限定した。特別練習や大会に出れない生徒から多少の反発があった。今後も文武両道の方針で、実施したい。		
28 あなたは、本校の教育活動全般に対して満足していますか。	特別活動	75%	77%	79%	78.3%	78.5%	77.5%	↑	72.8%	75.8%	78.3%	↑	様々な活動と教職員の対応の総評価。	保護者・教員は横ばいでいるが、生徒は上昇している。生徒、保護者の満足度を上げ、生徒、保護者、教員の満足度に大きな差が出ないよう、努力していきたい。		